

## (臨床研究に関する公開情報)

公立陶生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 多施設共同 慢性線維化性間質性肺炎の急性増悪後方視的観察研究および画像所見の予後因子解析

[当院研究責任者] 部署名 呼吸器・アレルギー疾患内科 氏名 近藤康博

[研究の背景] 慢性間質性肺炎の急性増悪は、国際的にも認知度が高まっている病態です。近年、慢性間質性肺炎の急性増悪の救命率は上がってきているものの、依然として致死率は高く、治療に難渋する重症状態です。

[研究の目的] 慢性間質性肺炎の急性増悪の診断時に、高い精度で、生命予後を予測することを目指しています。

### [研究の方法]

●対象となる患者さん：当院にて、2009年1月1日から2017年12月31日までに診断された18歳（診断時年齢）以上の慢性間質性肺炎の急性増悪の方を対象とします。

●研究期間：当院倫理委員会の承認後2020年1月31日まで

●利用する検体、カルテ情報

検体：慢性間質性肺炎の急性増悪診断時のCT(高分解能CT)画像。

カルテ情報：急性増悪診断時の臨床情報・検査結果・治療、急性増悪から1週間後のデータ、増悪前安定期の臨床情報・検査結果・治療、転帰。

本研究で利用する情報について詳細をお知りになりたい場合は下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

●検体や情報の管理

カルテ情報は、上述の必要項目のうち、収集可能なものをデータとして抽出し、他の施設からは研究代表者機関である公立陶生病院呼吸器・アレルギー疾患内科にインターネットを介して提出され、集計、解析が行われます。一方、CTは済生会熊本病院呼吸器センター呼吸器内科へ提出され、集計、解析が行われます。

### [研究組織]

この研究は、多施設との共同研究で行われます。

・研究代表者：公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科 近藤康博

・その他の共同研究機関：厚生労働省びまん性肺疾患に関する調査研究班に所属する施設を主体に約15施設が参加します。詳細をお知りになりたい場合は下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

[個人情報の取扱い]

研究に利用する検体や情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報はすべて削除し、研究用の番号を付けます。その後、研究用の番号とあなたの名前を結び付けることは不可能なように個人情報は完全に削除されます。検体や情報は、当院の研究責任医師である近藤康博が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

さらに、本研究が終了し、研究期間終了後は、提供元の施設名も研究用の番号も削除した匿名加工情報に変換され、将来の新たな医学研究に役立てられることとなります。

[問い合わせ先]

公立陶生病院

所属部署 呼吸器・アレルギー疾患内科 氏名 片岡健介

電話 0561-82-5101

FAX 0561-82-9139